

# 改革国会 自・民若手が提言 会期不継続「廃止を」

自民党の河野太郎、民主党の馬淵澄夫両衆院議員ら両党の若手七人は六日、衆院議員会館で記者会見し、ねじれ国会での審議円滑化に向けた八項目の提言を発表した。会

期内に議決しない議案は廃案となる「会期不継続の原則」を廃止して審議を引き延ばしを防ぐことや、法案審査ではなく行政の問題追及に多くの時間が費やされる委員会審議の見直しなどを求めている。

提言のまとめに携わった細野豪志氏（民主、衆院静岡5区）は「大連立は民主主義の観点から不健全。ねじれ国会で政策が進まないことも問題」と指摘。今回の提言について「議員立法に優先性を持たせたり、党議拘束を緩和することで、議論して立法する国会の姿を目指したい。国民に国会

審議が形がい化した現状に理解を求めるとともに、党内で国会改革の発言をしていきたい」と述べた。

2008年2月7日  
静岡新聞朝刊